

【フィルダム施工計画及び仮設備設計作業項目内訳表】《基本設計》

作業項目	作業内容	作業実施欄	
		当初	変更
1 準備作業			
1-1 現地調査	ダムサイト、仮設備予定地（原石山、土捨場含む）の地形、地質を把握する。 着手時1回（1日）		
1-2 資料の検討	既施工の調査資料（測量、地質、土質、雨量、気象等）及び既設計資料の把握並びに作業計画の方針を確立する。		
2 設計計画			
2-1 用土流用計画	用土流用の基本方針及び土取場、土捨場の概略規模を決定する。		
2-2 工事用道路計画	地形条件により主要工事用道路のルートを選定する。【現場内仮設を対象とする。】		
2-3 施工可能日数の検討	実績資料、文献等により推定する。		
2-4 主要施工機械の検討	施工機種を選定及び土工量による標準的な規格を決定する。		
2-5 仮設備の配置計画	土取場、土捨場、仮設ヤードを中心に配置計画を立案する。【仮設備の候補地の検討は含まない。】		
3 施工計画			
3-1 仮排水路及び仮締切の検討	トンネルの掘削、ライニング工法の基本的検討を行う。		
3-2 基礎掘削の検討	基本方針を立案する。		
3-3 基礎処理の検討	基本方針を立案する。【グラウト工法以外の場合は別途計上する。】		
3-4 監査廊の検討	基本方針を立案する。【暗渠タイプの場合に適用する。トンネル方式の場合は仮排水路歩掛を適用する。】		
3-5 築堤計画	基本方針を立案する。		
3-6 材料採取計画	基本方針を立案する。		
3-7 洪水吐の検討	基本方針を立案する。		
3-8 取水設備の検討	基本方針を立案する。		
3-9 閉塞工の検討	基本方針を立案する。【湛水計画は含まない。】		
4 工事工程計画			
4-1 施工日数の検討	実績及び経験に基づき施工日数を算定する。		
4-2 工事工程表及び 機械配置表の作成	概略工程表を作成する。		
5 仮設備の設計	【機械類の設計及び建屋等の構造設計は含まない。】		
5-1 土取場、原石山及び ストックヤードの検討	本体施工を行うための各施設の予定地の位置図を作成する。		
5-2 工事用道路の検討	配置平面図、標準断面図、道路延長調書を作成する。 【道路総延長5km程度とする。但し、現場内道路とする。】		
6 全体平面図計画	全体配置計画平面図（1/1,000～1/2,500）を作成する。		
7 概算工事費積算	主要工事数量と事例等による単価で概算工事費を算定する。		
8 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。		
9 点検取りまとめ	各設計項目の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。		

【フィルダム施工計画及び仮設備設計作業項目内訳表】 《実施設計》

作業項目	作業内容	作業実施欄	
		当初	変更
1 準備作業			
1-1 現地調査	ダムサイト、仮設備予定地（原石山、土捨場含む）の地形、地質を把握する。着手時1回（1日）中間1回（1日）		
1-2 資料の検討	既施工の調査資料（測量、地質、土質、雨量、気象等）及び既設計資料の把握並びに作業計画の方針を確立する。		
2 設計計画			
2-1 用土流用計画	詳細な流用計画を作成し、土取場、土捨場容量を決定する。		
2-2 工事用道路計画	資材運搬道路、土取場、土捨場、原石山への進入道路及び堤内工事用道路の路線及び規模を決定する。		
2-3 施工可能日数の検討	雨量資料、気象資料により詳細に算定する。		
2-4 主要施工機械の検討	詳細の比較検討による機種、規格を選定する。		
2-5 仮設備の配置計画	現場内仮設備の配置計画の作成をする。		
3 施工計画			
3-1 仮排水路及び仮締切の検討	仮排水トンネルの詳細施工計画、仮設備計画を樹立する。		
3-2 基礎掘削の検討	施工法を検討し、概略の工程計画を作成する。		
3-3 基礎処理の検討	施工法を検討し、概略の工程計画を作成する。【グラウト工法以外の場合は別途計上する。】		
3-4 監査廊の検討	施工法を検討し、概略の工程計画を作成する。【暗渠タイプの場合に適用する。トンネル方式の場合は仮排水路歩掛を適用する。】		
3-5 築堤計画	平均盛立量による築堤計画、概略の工程計画を作成する。		
3-6 材料採取計画	採取地をレイアウトし、掘削、運搬計画を作成する。		
3-7 洪水吐の検討	概略の掘削、コンクリート打設計画、工程表を作成する。		
3-8 取水設備の検討	施工法を検討し、概略の工程計画を作成する。		
3-9 閉塞工の検討	施工法を検討し、概略の工程計画を作成する。【湛水計画は含まない。】		
3-10 給気、給水設備の検討	基本計画をレイアウトし、ピーク消費量による設備規模を推定する。		
3-11 排水設備の検討	基本計画をレイアウトする。		
3-12 排水処理設備の検討	基本計画をレイアウトし、設備容量を推定する。		
3-13 工事用動力設備の検討	概略施工計画に基づく設備電力の算定を行う。		
4 工事工程計画			
4-1 機械能力の検討	主要工事の作業機械の能力を算定する。 【積算基準に基づく能力算定は別途計上する。】		
4-2 施工日数の検討	主要工事の作業機械の能力により施工日数を算定する。 【積算基準に基づく能力算定は別途計上する。】		
4-3 工事工程表及び 機械配置表の作成	詳細工程表を作成する。		
5 仮設備の設計	【機械類の設計及び建屋等の構造設計は含まない。】		
5-1 土取場、原石山及び ストックヤードの検討	予定地の位置図を作成する。掘削計画図（平面、縦断、横断図）を作成し、賦存量を計算する。		
5-2 盛立設備の検討	フィルター、ふるい分け設備の概略の設計を行う。		
5-3 給気、給水設備の検討	平面位置図及び主要構造図を作成する。		
5-4 排水設備の検討	平面位置図及び主要構造図を作成する。		
5-5 濁水処理設備の検討	平面図、主要構造図を作成する。		
5-6 工事用電力設備の検討	設備系統図、単線結線図を作成する。		
5-7 工事用道路の検討	平面図、標準断面図、縦断図を作成する。 【道路総延長5km程度とする。ただし、現場内道路とする。】		
5-8 土捨場の検討	土捨場断面図を作成し、捨土容量を概算する。【土捨場1箇所とする。】		
6 全体平面計画	全体配置計画平面図（1/1,000～1/2,500）、ダムサイト仮設平面図（1/500）を作成する。		
7 概算工事費積算	主要工種の単価表を作成し、概算工事費を算定する。		
8 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。		
9 点検取りまとめ	各設計項目の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。		

【フィルダム施工計画及び仮設備設計作業項目内訳表】《補足設計》

作業項目	作業内容	作業実施欄	
		当初	変更
1 準備作業			
1-1 現地調査	ダムサイト、仮設備予定地（原石山、土捨場含む）の地形、地質を把握する。着手時1回（2日）中間1回（1日）		
1-2 資料の検討	既施工の調査資料（測量、地質、土質、雨量、気象等）及び既設計資料の把握並びに作業計画の方針を確立する。		
2 設計計画			
2-1 仮設備の配置計画	詳細配置計画を作成する。		
3 施工計画			
3-1 仮排水路及び仮締切の検討	仮排水路出入口、仮締切の施工計画を樹立する。		
3-2 基礎掘削の検討	詳細施工計画、機械配置計画を作成する。		
3-3 基礎処理の検討	詳細施工計画、機械配置、仮設備計画を作成する。【グラウト工法以外の場合は別途計上する。】		
3-4 監査廊の検討	詳細工程計画、コンクリート打設計画、機械配置、仮設備計画を作成する。【暗渠タイプの場合に適用する。トンネル方式の場合は仮排水路歩掛を適用する。】		
3-5 築堤計画	詳細築堤計画、機械配置、運土計画、盛立図を作成する。		
3-6 材料採取計画	詳細掘削運搬計画、跡地処理計画を作成する。		
3-7 洪水吐の検討	詳細の掘削計画、コンクリート打設計画、仮設備計画を作成する。		
3-8 取水設備の検討	詳細の施工計画、機械配置、仮設備計画を作成する。		
3-9 閉塞工の検討	詳細の施工計画、機械配置、仮設備計画を作成する。 【湛水計画は含まない。】		
3-10 給気、給水設備の検討	時間別消費量の算定、設備規模の決定、詳細配置計画を作成する。		
3-11 排水設備の検討	排水系統図作成、排水量計算、排水設備を選定する。		
3-12 排水処理設備の検討	期別処理量の算定、設備規模を検討し、詳細配置計画を作成する。		
3-13 工事用動力設備の検討	受電、配電設備計画の作成、電力量の算定を行う。		
4 工事工程計画			
4-1 機械能力の検討	各工種の作業機械の能力を算定する。		
4-2 施工日数の検討	各工種の作業機械の能力により施工日数を算定する。		
4-3 工事工程表及び 機械配置表の作成	詳細工程表を作成及び機械配置計画を作成する。		
5 仮設備の設計	【機械類の設計及び建屋等の構造設計は含まない。】 附帯設備の設計及び跡地処理の設計を行う。		
5-1 土取場、原石山及び ストックヤードの検討			
5-2 盛立設備の検討	フィルター、ふるい分け設備の詳細設計をする。		
5-3 給気、給水設備の検討	構造計算に基づき詳細図を作成し、数量を計算する。		
5-4 排水設備の検討	詳細図を作成し、数量を算定する。		
5-5 濁水処理設備の検討	構造計算に基づき詳細図を作成し、数量を計算する。		
5-6 工事用電力設備の検討	詳細の設計図を作成し、数量を計算する。		
5-7 工事用道路の検討	詳細の設計図を作成し、数量を計算する。【道路総延長5km程度とする。但し、現場内道路とする。橋梁等の構造物設計は別途計上する。】		
5-8 土捨場の検討	詳細の設計図を作成し、数量計算を行う。【安定計算は別途計上する。】		
6 全体平面図計画	全体配置計画平面図（1/1,000～1/2,500）、ダムサイト仮設平面図（1/500）を作成する。		
7 特別仕様書作成	各工種について工事実施可能な特別仕様書を作成する。		
8 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。		
9 点検取りまとめ	各設計項目の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。		